「老人ホームで看取るということ」
～尊厳ある「死」を選択する～

講師：　社会福祉法人　蓬莱会　特別養護老人ホーム　ケアプラザさがみはら
施設長　　大塚　小百合

＜研修内容＞

老人ホームという「暮らしの場」における看取りの実際と、看取り介護をしていくうえでの基本となる「尊厳ある死」の考え方についての研修となります。

あまり知られていませんが、日本の医療が世界一な点が 2 つあります。
ひとつは薬剤消費量が人口数に比べて多いこと。寝たきり老人の比率が世界各国と比べてダントツに高いこと。

なぜ日本は「寝たきり大国」になってしまったのか、そのような状況下でなぜ今病院での「死」ではなく施設での看取りが注目されているのか。

以上の背景を踏まえて、施設における ACP や具体的取組についてもお話します。

社会福祉法人　蓬莱会　特別養護老人ホーム　ケアプラザさがみはら　施設長　　大塚　小百合

資格：　社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員

＜略歴＞

関西学院大学文学部卒業
関西学院大学大学院　社会学研究科　社会福祉学専攻　博士前期　課程修了　社会学修士
関西学院大学専門職大学院　経営戦略研究科修了　経営管理学修士（MBA）

大学卒業後、市役所福祉職、社会福祉協議会、急性期病院の MSW、当法人新規事業準備室長としての勤務を経て現職